



とうりんぼの詳細情報はHPでもチェックできます！

びあパーク とうりんぼ

tourinbo.xii.jp

- 刈羽びあパークサッカー場
 - 刈羽村宿泊交流センター ピーチビレッジ
 - ピーチビレッジ園芸管理センター
 - スイーツガーデン
 - JA柏崎・刈羽園芸サポートセンター
 - 新潟大学刈羽村先端農業バイオ研究センター
-ピーチビレッジ刈羽(株) Tel.0257-31-8600 Fax.0257-31-8660
-(株)刈羽スイーツガーデン Tel.0257-31-8869 Fax.0257-31-8868
-Tel.0257-31-8281 Fax.0257-31-8282
-Tel.0257-31-8871 Fax.0257-31-8872



刈羽村地域共生事業施設

びあパーク
とうりんぼ
Peach & Agriculture Park

「農業生産」「加工物販」「飲食」「集客」の 4つをコンセプトに 刈羽村の新しい産業・観光を 生み出す複合施設



愛称の由来

「ぴあパーク とうりんぼ」は、施設に込められた思いと刈羽村の歴史に由来しています。

まず、村の特産品でありシンボルでもある桃（ピーチ）と、稲作だけに頼らない強い農業（アグリカルチャー）の発展を願い、それぞれの頭文字から「ぴあ」と名づけました。ここを訪れる人が触れ合いやつながりを楽しむ公園（パーク）になるようにという思いが込められています。「とうりん」は、かつて桃畑の中に設けられた越後鉄道の臨時停車駅「桃林駅」に由来します。大勢の花見客でにぎわった当時のように、村内外からたくさんの人が訪れ、村の新しい交流の場として発展してほしいという思いを込め、「通り（通る）」の意味を含ませることで村の新しい玄関であることを表現しています。

どの年代でも馴染みのある「かくれんぼ」や「とうりゃんせ」のように、呼びやすく覚えやすい愛称で性別や年齢を超えた人々が集い笑顔になれる場、村の新たな愛される場所となるよう「ぴあパーク とうりんぼ」という愛称になりました。

ロゴマークの意味

勢いよく茂る1本の木をモチーフに構成されたロゴマークです。木の幹が人の手の形をしており、さらに中央に向かって仲間（ぴあ）の手が集まって枝葉を形成する姿は、人々が集い触れ合う場をイメージしています。円形で調和を、花のピンク、植物の緑が豊かな自然環境を表現しており、さらにサッカーボールを連想させる7つの五角形で、施設の中心でもあるサッカー場があることも表現しました。

地域共生事業施設 ぴあパークとうりんぼ

村の西部に広がり、かつて桃の花見客で賑わいを見せた刈羽砂丘における「すなやま再生」の起爆剤として、「農業生産」「加工物販」「飲食」「集客」の4つをコンセプトとした事業が刈羽村地域共生事業です。稲作中心の農業から、農家の複合経営化を目指した園芸農業を普及し、地産地消による六次産業化を目指すとともに、村の賑わいをつくり交流人口を増加させる新しい産業・観光を生み出す地域共生事業は平成16年に検討委員会が発足しスタートしました。

一時中越沖地震により中断されましたが、復興のシンボルとして検討を再開。平成20年に民間の参画希望者やJA柏崎、新潟大学から事業提案書が提出され、評価委員会における内容審査を経て事業内容が決定しました。事業理念に賛同し地域や村とともに推進いただいた東京電力㈱からの寄付事業として平成22年10月に建設工事着工。平成24年10月1日にグランドオープンしました。



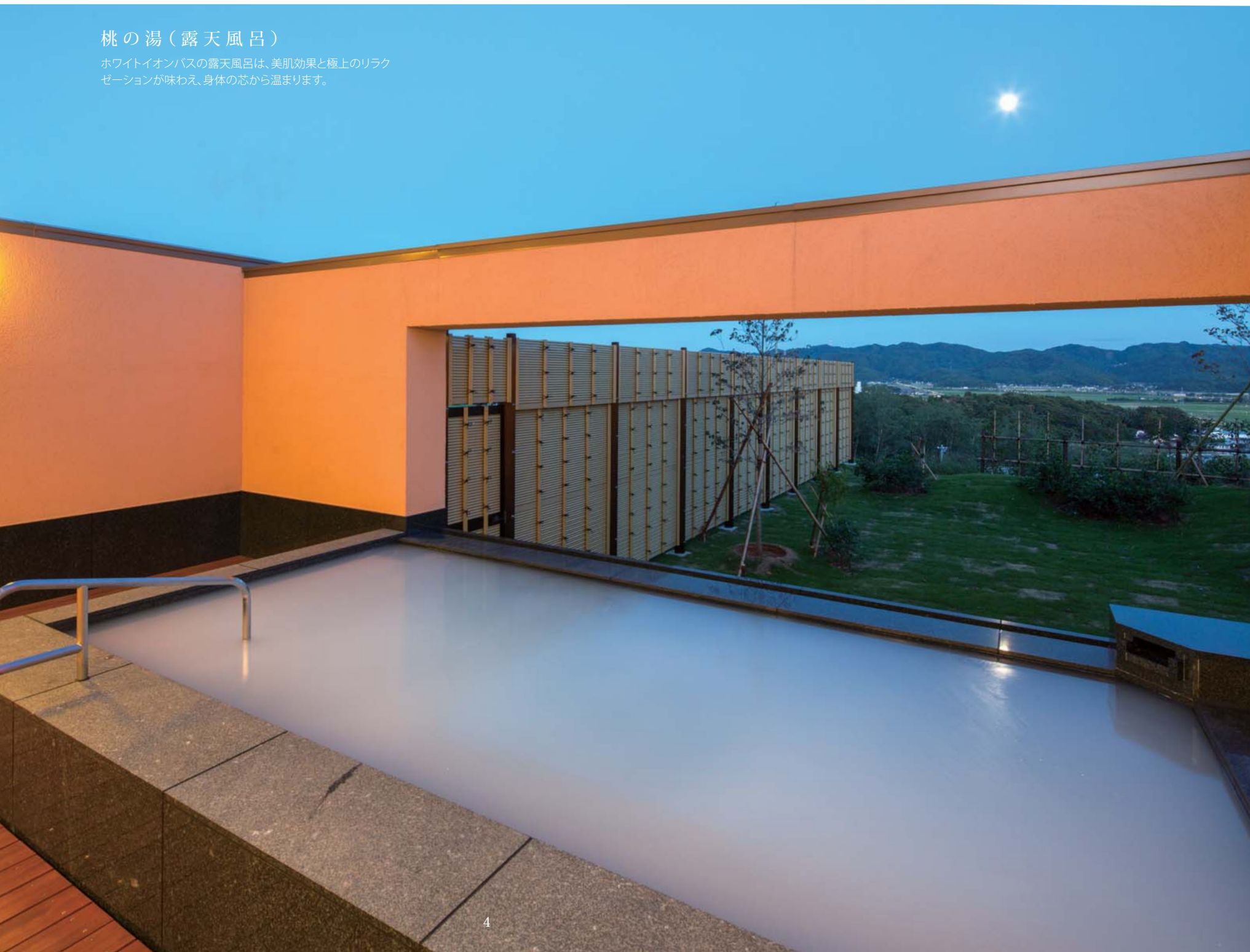
刈羽村宿泊交流センター ピーチビレッジ

ホワイトイオンバスの絶景露天風呂や、県内でもめずらしい人工炭酸泉、ミストサウナのある「桃の湯」があり、ゆったりとおくつろぎいただけます。また、サッカー場に隣接しており、ホテルとしてのご利用やスポーツ合宿、地域交流にご利用できる施設です。



桃の湯（露天風呂）

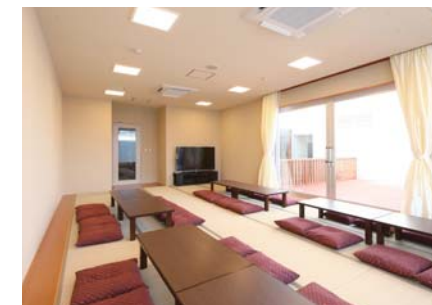
ホワイトイオンバスの露天風呂は、美肌効果と極上のリラクゼーションが味わえ、身体の芯から温まります。



桃の湯（内湯）

人工炭酸泉、ジャグジーのお風呂、ミストサウナが楽しめます。人工炭酸泉は新陳代謝が活性化され、湯上がり後もポカポカの温かさが持続します。

（写真奥が人工炭酸泉、手前がジャグジー風呂）



広間

28畳の広間でゆっくりとおくつろぎください。隣接のバルコニーにはパラソルがあり、爽やかに屋外で涼むことができます。



お食事処

麺類・どんぶり・定食・つまみ類などをご用意しています。バルコニーはサッカー観戦の絶好の場所です。





刈羽ぴあパーク サッカー場

(人工芝サッカー場A・B)

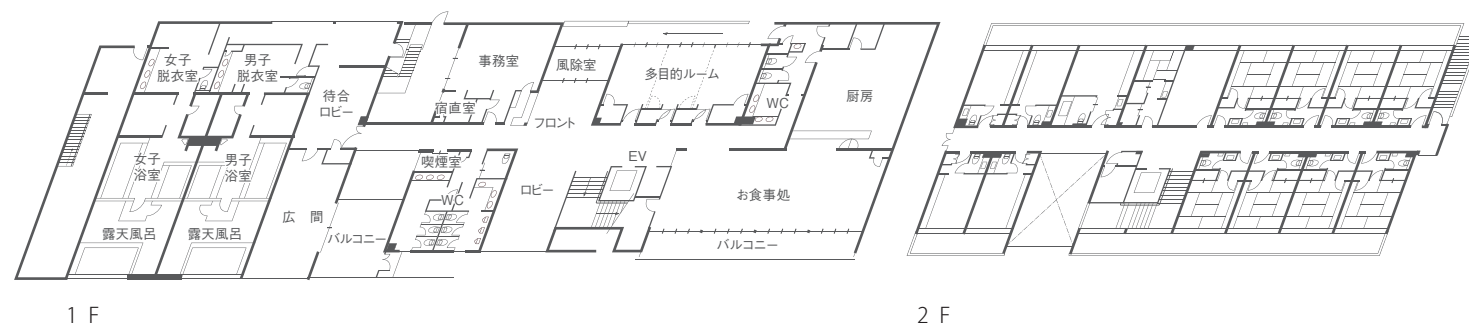
JFA(日本サッカー協会)公認の人工芝サッカー場です。公式大会が開催できる夜間照明、観客席のついたフルサイズのピッチが2面あります。



- コート面積 サッカー場A／9,480㎡ ※105m×68mの公式大会用フルサイズピッチ(JFA公認)
サッカー場B／9,480㎡
- 夜間照明 サッカー場A／200ルクス(100ルクス切替可)
サッカー場B／100ルクス
- ジュニア仕様 サッカー場A・B各半面利用・最大4面利用可能
68m×50mのJFA推奨サイズ

- 宿泊交流センター 鉄骨造・鉄筋コンクリート造 2階建地下1階 1,393.70㎡
- ランドリー 木造平家建 50.00㎡

刈羽村宿泊交流センター ピーチビレッジ



1 F

2 F



和室

- 定員 1～4名
- 広さ 8畳 23.2㎡



洋室

- 定員 1～2名
- 広さ 20.3㎡(4室) 29㎡(バス付き(1室))



多目的ルーム

畳敷きも可能です。3分割でき、多目的にご利用できます。



ランドリー

宿泊者だけでなく一般利用もできます。

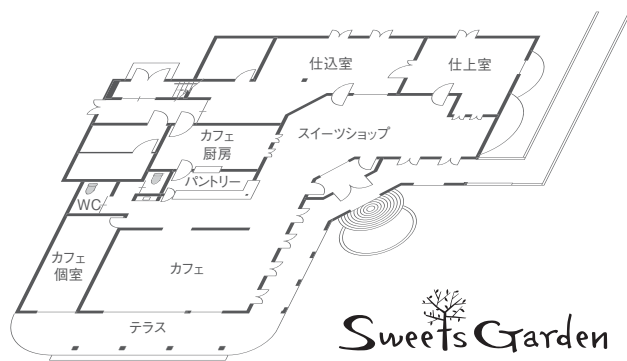




スイーツガーデン

スイーツガーデンは、風薫る「びあパーク とうりんぼ」内にある洋菓子と和菓子のショップとカフェです。
刈羽の美しい田園風景と西山の連なりを一望できる最高のロケーションで、とうりんぼで採れる新潟県のブランドイチゴ「越後姫」や刈羽の砂丘桃など、新潟の豊かな自然素材を生かした美味なお菓子やお食事をお召し上がりいただけます。

●スイーツガーデン 木造2階建 397.64㎡
カフェ 一般席 40席
個室 18席
テラス席 12席





新潟大学 刈羽村先端農業 バイオ研究センター（刈羽バイオドーム）

全国に例のないCO₂濃度、温度、湿度、光を遠隔制御できるバイオドームにより、高温耐性のある
水稻や優れた野菜の選抜、新奇品種の産出など地域の農業振興に貢献する研究を行います。

- バイオドームA 鉄骨造平屋建 113.40㎡
- バイオドームB 鉄骨造平屋建 141.75㎡
- バイオ実験棟 鉄骨造平屋建 289.20㎡

JA柏崎・ 刈羽園芸サポートセンター

稲作中心の農業から、農家経営におけるリスク軽減を図る水稻＋園芸の複合経営へ発展させるなど柏崎刈羽地域の農業の振興を目的とした拠点施設です。

●園芸トレーニングハウス 鉄骨造平屋建 565.93㎡

●蔬菜苗生産ハウス 鉄骨造平屋建 433.03㎡

●格納庫（播種施設・事務所） 鉄骨造平屋建 324.82㎡

■園芸トレーニングハウス運営事業

地域園芸生産者の園芸栽培技術向上の研修を行います。また、直売所等へ通年販売も行います。

■蔬菜苗生産ハウス運営事業

農業者への健苗供給と少量多品目苗の生産による園芸の普及拡大を図ります。

■環境菌製造事業

稲作農家で発生する籾殻とボカシを混合し、有機堆肥を製造して圃場に還元することで環境に配慮した循環型農業の普及・推進を行います。

ピーチビレッジ 園芸管理センター

新潟県のブランドイチゴの「越後姫」やトマトを栽培する園芸ハウスと、刈羽村特産の「砂丘桃」の大規模な圃場により、近代的で作業効率の良い園芸を行います。

- イチゴハウス 鉄骨造平屋建 868.31㎡ × 2棟
- トマトハウス 鉄骨造平屋建 868.31㎡
- 育苗ハウス バイプハウス 194.40㎡
- 桃の圃場 15,646㎡
- 管理棟・倉庫 鉄骨造2階建 199.10㎡

10

11